

1. 秦 浩

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. コミュニティ・スクールと学校施設について	① 宮司地区の新設小学校開校後、校区再編により津屋崎中学校の生徒数の増加が予想される。津屋崎中学校の校舎の増築と、生徒数の増加に関する課題について伺う。 ② 宮司地区の新設小学校開校に伴う校区再編によって、津屋崎中学校に通う生徒は、どこの郷づくりにも属することになるのか伺う。 ③ 各学校の見守り隊について伺う。 ④ 校区再編と校区外通学について伺う。 ⑤ 市内の体育館の空調設備について伺う。 ⑥ 学校のプール施設に関する今後の方針について伺う。 ⑦ 学校施設の建て替えについて伺う。	
2. 消防団について	① 現在の消防団の団員数、団員の年齢層及び格納庫の築年数について伺う。 ② 発災時の消防団の動きについて伺う。 ③ 3.5トン未満の消防車両の数や機材、資材について伺う。 ④ 頻繁に火災が発生している箇所に対する市の対応策について伺う。	

2. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 本市の障がい福祉について	障がい福祉とは、障がいのある人が自らの望む生活を営むことができるように支援することであり、障害福祉サービスを受ける場合は、申請を行うことで「障害支援区分」の認定を受け、介護給付や訓練等給付の障害福祉サービスを受けることができる。 本市の学校において、子どもの発達に不安を抱える保護者が増えることで特別支援学級が増加している。そこで、以下の点について伺う。 ① 小・中学校の各学校別の特別支援学級数の過去10年間の推移 ② 資格等を持った専門性のある教員の配置 ③ 子どもの特性に合わせたクラス編成になっているか ④ 環境整備の課題 ⑤ 放課後等デイサービスとの連携 ⑥ 放課後等デイサービスの現状と課題 ⑦ 放課後等デイサービスの利用に関して、近隣自治体との違いはあるか ⑧ 放課後等デイサービスにおける過去10年間の扶助費の推移 ⑨ 本市における今後の障がい福祉施策に対する見解	
2. 本市の防災について	先日の未曾有の豪雨における災害の対策と対応について以下の点を伺う。 ① 避難指示の発令の判断はどのように行ったのか ② 被害状況 ③ 避難指示の発令において近隣自治体との差はあったのか ④ 災害ごみについての市の見解 ⑤ 今後の災害対策等についての方針	

3. 井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 電力デマンド管理による電力コストの削減について	地方自治体の行財政運営においては、限られた財源を最大限に活用し、持続可能かつ効率的な公共サービスの提供を実現することが求められる。そのため、支出の適正化及び経費の削減は、財政健全化と政策効果の最大化を両立させる上で不可欠な施策である。そこで本市の電力需要の適正管理について以下の点を伺う。 ① 令和6年度の庁舎における年間電気使用料 ② 電気使用料の抑制に向けた取り組み ③ 電気使用料のコスト構造 ④ 電力デマンド管理の必要性 ⑤ 電力デマンドコントローラーの導入による電力使用の最適化とコスト削減についての見解	

4. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 福津市まちづくり指針について	6月定例会の総括質疑で答弁されたまちづくり指針について再度伺う。 ① 5%の個人市民税・法人市民税の減税により期待される効果と子ども医療費の無償化等子育て世帯への支援策との関連性は。 ② 個人市民税・法人市民税の減税政策を進める上で、すでに実施している名古屋市が国・県とどういうやりとりをしたのかを踏まえ、制度面など有識者の助言を受けて進めていくとの事だったが、その進捗状況は。 ③ 企業誘致はアプリ開発やコールセンター等の10人～50人規模の企業を想定しているとの答弁であった。誘致する企業の想定数と税収の見込額は。 ④ 市長給与10%カットは教育委員会と協議をした上で示したいとの事であったが、その後の進捗状況は。	
2. 地域拠点の整備について	昨年度に引き続き、東福間駅周辺地域と津屋崎地域の進捗状況について伺う。 (1) 東福間駅周辺地区 ① 公園整備、東福間口駅前広場、若木台口側の予算も含め事業計画に変更はないか。 ② 駅舎天井部分の補修等は今年度中に行うとの答弁だったが、進捗状況は。 (2) 津屋崎地区 ① 来年度開業を目指して整備が進められている夕陽館の進捗状況 ② 大峰山キャンプ場貸与先事業者が提案した計画と取り組みの進捗状況	

5. 豆田 優子

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 香害（化学物質過敏症）への取り組みについて	令和5年6月と令和6年6月の定例会で、香害（化学物質過敏症）から市民の健康を守るための対応について一般質問を行った。そこで、その後の市の取り組みについて、以下のことを伺う。 ① 香害（化学物質過敏症）の周知 ② 実態調査 ③ フレグランスフリーの取り組み	
2. 学童保育所の課題と改善策について	学童保育所は、「第二の家庭」といわれるほど重要な役割を担っており、子どもの安心・安全を守る場所である。施設の規模にかかわらず、重要な役割を担っていただいていることに敬意を表したい。 その上で、この「第二の家庭」である学童保育所をより充実したものにし、子どもの健やかな育ちと安心・安全を守るために、現状の課題や改善策について検討する必要があると考える。そこで以下について伺う。 ① ハード面（施設・設備等）の課題とその改善策 ② ソフト面（職員体制・運営方針等）の課題とその改善策	

6. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 第3次福津市行財政改革大綱について	本市は、より質の高い地方行政サービスを効果的に提供するため、令和3年度から令和7年度までを対象とした第3次福津市行財政改革大綱を策定し、現在その実施計画に基づき行財政改革に取り組んでいる。当然ながら、令和3年度以降のこれらの取り組みが、質の高い行政サービスの提供に繋がっていくことが重要である。 以上の点を踏まえ、この行財政改革大綱や実施計画に基づく取り組み及び今後について伺う。 ① より質の高い地方行政サービスとは何か。 ② 第3次福津市行財政改革大綱の進捗に対する現状の評価 ③ 職員の時間外勤務の縮減等によるワークライフバランスの推進の状況 ④ 公共施設使用料、利用料見直しについての今後の見通し ⑤ 新たな財源確保として企業版ふるさと納税をあげているが、具体的な取り組み ⑥ 令和8年度以降の行財政改革の取り組み	
2. 新設小学校建設工事と周辺地域の防災について	宮司地区の新設小学校建設工事の進め方及び周辺地域の防災等について以下の点を伺う。 ① 建設予定地に降った雨を、手光今川に流しているが、今後も同様の工事の進め方をするのか。 ② 建設予定地周辺地域の防災の考え方	

7. 中村 晶代

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 子宮頸がんへの対策について	女性の命や健康を守る上で重要な子宮頸がんへの対策に、市では現在どのように取り組んでいるのか、以下について伺う。 ① HPVワクチンのキャッチアップ接種の現状 ② HPVワクチン定期接種の取り組み ③ HPVワクチン接種の確実な周知方法と今後の課題	
2. 帯状疱疹への対策について	帯状疱疹は働き盛りの50歳頃から罹患者が増える傾向にあるが、定期接種は65歳以上となっているため、市民からの問い合わせが多いと聞く。その状況を踏まえ、以下について伺う。 ① 帯状疱疹ワクチン接種の現状 ② 帯状疱疹は、罹患後の後遺症を予防するためにも早期発見・治療が重要となる。市の対策は。 ③ 定期接種対象年齢に達していない市民に対するワクチン接種費用助成の考えは。	
3. RSウイルス感染症への対策について	RSウイルス感染症は小児だけではなく、成人にも広く感染する病である。特に高齢者や基礎疾患がある人、病气療養中の人などが感染すると、肺炎が重症化したり命にかかわったりすることもある。小児の重症化を防ぐと同時に、周りの家族や高齢者の命や健康を守るために、市は現在どのように取り組んでいるか、以下について伺う。 ① RSウイルス感染症予防の現状と対策 ② 成人に対するRSウイルス感染症予防ワクチン接種費用助成の考えは。	

8. 石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 空き家対策と郷育カレッジの活用について	近年、少子高齢化に伴い空き家の増加が社会問題となっており、本市でも高齢化が進む地域を中心に、防犯・防災や景観・衛生面について課題が見受けられる。空き家の利活用や管理促進には、行政の支援体制と市民への啓発が不可欠である。 空き家バンクの登録促進や未登録物件への対応、相続、終活に関する知識の普及が重要であり、本市の「郷育カレッジ」の講座も予防的な取り組みとして期待される。 これらを踏まえて、以下について問う。 ① 本市の空き家の現状 ② 空き家バンク登録後のサポート体制 ③ 空き家バンクに登録されていない空き家への対応 ④ 郷育カレッジ講座「終活や相続」などの活用の考え	
2. 豪雨災害対策と市役所閉庁について	令和7年8月9日から11日にかけて九州北部を襲った記録的な豪雨では、本市でも道路の冠水や土砂災害の危険性が高まり、市民生活に大きな影響を及ぼした。市役所の閉庁判断も含め、決定の経過や周知方法については、今後の災害対応力向上のため、検証が必要と思われる。 そこで以下の点について伺う。 ① 市役所閉庁の決定に至るまでの経過 ② 周知の方法 ③ 当日の市民への対応状況	

9. 倉元 敏徳

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 防災について	近年、全国で記録的な豪雨災害が発生しており、甚大な被害が出ている。8月の豪雨では、本市においても多くの被害があり、誠に残念ながらお二人がお亡くなりになられた。そこで、市の防災について以下を伺う。 ① 防災行政無線は、どのような状況で使うのか。 ② 現在の防災行政無線のあり方を今後も継続していくのか。 ③ 避難場所等を示す防災標識を設置しているが、一部で標識の表示と実際の場所が違うところがあることを、認識しているのか。	
2. 中学校部活動の地域展開について	中学校の部活動は、令和8年度から地域展開をする期間となっているが、以下について伺う。 ① 令和7年度予算に計上された部活動指導員9人の内訳 ② 地域展開になった場合、中学校の部活動ではなくなるのか。 ③ 地域展開ができなかった場合、または、地域展開できない部活動がある場合はどうなるのか。 ④ 地域展開した後の部室はどうなるのか。	

10. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 福間漁港小型船舶係留等施設について	福間漁港には市の許可を受ければプレジャーボートを係留できる公共施設がある。施設使用の許可期間は最長1年間で、申請することで年度ごとに許可を受けることができるようになっている。しかし、今年度は利用者の許可期間が10月までとなっており、その理由は船の上下架を行うクレーンの性能検査に通る見込みが立っておらず、使用できなくなる可能性があるためと聞いている。本施設はクレーンだけでなく、設備の老朽化やそれに伴う破損も多く、今後の維持管理や運営に課題が多い。 これらを踏まえ、以下の点を伺う。 ① 前回のクレーン性能検査から現在までの経緯 ② 施設利用者への説明状況 ③ 11月以降の施設利用はどのようなのか。 ④ 今後の施設運営の予定	
2. 福津市公共下水道事業について	福津市公共下水道事業は平成28年度より企業会計が適用されている。独立採算制の原則のもと、料金収入で経営を行わなければならないが、一般会計からの基準外繰入金を受け入れることが常態化しており、独立採算制の原則から外れている。現在は一般会計への依存体質からの脱却に向けて、令和9年4月から下水道使用料を改定する方向で担当課や審議会で検討が進んでいる。 これらを踏まえ、以下について伺う。 ① 平成28年度以降の基準外繰入金の金額 ② 一般会計からの基準外繰入金を受け入れることが常態化している要因 ③ 施設更新等の今後の大型投資予定 ④ 下水道使用料改定までのスケジュール	

11. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 豪雨災害対応の検証と今後の方針について	8月9日から11日にかけて発生した豪雨災害への対応を客観的に整理した上で、初動から現在までの災害対応の検証と、それによって顕在化した課題、今後の対応について見解を伺う。	

12. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. こども・子育てについて	本市のこども・子育て施策については、「福津市まちづくり基本構想」をベースに「第1期福津市こども計画」（計画期間：令和7年度から令和11年度までの5年間）に体系化されている。 以下について市の見解を伺う。 ① 「第1期福津市こども計画」の考え方・目標数値・当面の重点課題 ② 待機児童・保育士不足に関わる処遇改善 ③ 学校の過密緩和のための校区外通学制度	
2. 災害対応について	8月9日から11日にかけて、本市は大雨に見舞われ、人的被害とともに、市内各所で浸水やがけ崩れなどが発生した。被災された市民が一日でも早く普段の暮らしや生業に戻ることを願い、行政の支援の在り方など、以下について伺う。 ① 発生した浸水、がけ崩れなどの対応の考え方 ② 避難指示や避難所開設、市役所臨時閉庁、ボランティアセンター開設などの一連の対応と人員体制 ③ 被災者支援 ④ 今後の中長期的計画	

13. 佐伯 美保

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 大雨による災害に対する本市の対応等及び被害状況と今後の対策について	自然災害が激甚化する中、市民の命と安全を守る防災対策及び災害時対応が求められる。 気象台は福津市に8月9日21時16分に大雨警報、21時35分に土砂災害警戒情報、23時49分に洪水警報、8月10日0時過ぎには、福津市付近に1時間約110mmの記録的短時間大雨情報を発表した。降り始めから11日までの累計雨量は590mmに達し、市内に甚大な被害が出た。 本市では、8月10日0時に市役所に自主避難所を開設、7時に災害対策本部を設置、9時に市役所の避難所を閉鎖し、ふくとぴあに自主避難所を開設、15時に指定避難所の開設及び避難指示を行った。 気象台からの相次ぐ警報発表を受けての本市の対応、災害時及び災害後の一連の対応、被害状況と今後の対策等について伺う。 ① 災害対策本部の設置及び市民への発信 ② 避難所開設及び運営状況等 ③ 市役所閉庁と相談体制及び災害対応等 ④ 被害状況の把握体制と被害状況、今後の対策等	
2. 新設小学校及び周辺地域の防災対策等について	新設小学校通学路等とその周辺地域に対する防災対策等について伺う。 ① 今回の大雨時の七股池からの排水路の排水状況と周辺地域の被害状況及び防災対策等 ② 今後の洪水に備えての新設小学校周辺地域に対する防災対策等 ③ 子どもたちの命と安全を守る上で、新設小学校の予定通学路の今回の大雨時の状況と防災対策等	

3. 生物多様性保全 に向けての取 組み等について	第2次福津市環境基本計画(2017年度～2026年度)では、生物多様性保全プランの3章「目指す将来像と目標」の目標1「生き物や生き物が住んでいる場所を守る」を掲げ、行動方針(1)では「福津市に生息・生育している生き物を把握する」とし、行動計画で、生き物に関するデータの収集を明記している。 本市の生物の生息状況等の調査及びデータの集積状況を含めた生物多様性保全に向けての取り組み状況等について伺う。	
--	---	--